

県内専修学校の動向

(はじめに)

近年、県内の高等学校の卒業生は1万7,000人台で推移しているが、そのうち専修学校への入学者数は4,600人～5,000人と新規卒業生の3割近くを占めており、専修学校は資格・技能の取得のための実践的な教育機関として安定した入学生を確保している。

一方、専修学校の在校生は2000年に約8,600人であったが、2005年には約1万600人と過去5年間で約2,000人増加している。増加の要因として、これまで1年制だった学科の2年制への移行やニーズの高い医療系など就業年限が比較的長い学校・学科の新設、高等学校の過年度卒業生や社会人の入学生の増加などが挙げられる。

このような状況を踏まえ、沖縄県内の専修学校の現状についてまとめてみた。

1. 専修学校の概要

(1) 専修学校の体系

学校は、大学・短期大学、高等学校、中学校などの学校教育法第1条で規定されている学校(一条校)と専修学校・各種学校に分けられる(図表1)。

1947年に学校教育法において「学校教育に類する教育を行うもの」として各種学校が規定された。その後、各種学校を充実していくため、1975年の学校教育法の一部改正および1976年の「専修学校設置基準」により専修学校制度が創設された。

専修学校は、職業や最新技術に関する専門性の高い実務教育や实际生活に必要な能力などを育成するための学校であり、学校教育法や専修学校設置基準を満たした上で県知事の認可を受けた学校のことである。入学資格の違いにより「専門課程」、「高等課程(高等専修学校)」、「一般課程」の3つの課程に分類される。

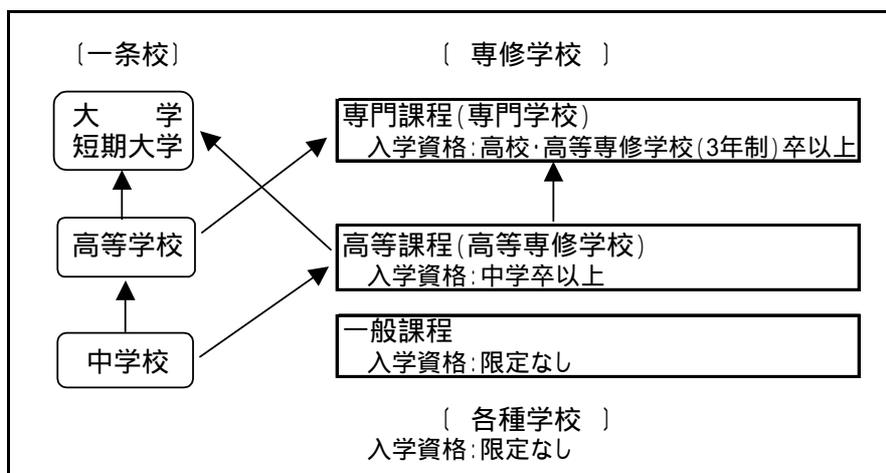
「専門課程」は、高校卒業程度の学生が入学できる課程である。一般的に専門学校とは「専門課程」の学校のことであり、専修学校の約8割は専門課程(専門学校)となっている。また、修業年限や総授業時間数、学業成績により卒業の認定が行われているなど一定の要件を満たす専門学校の学科を卒業した者には「専門士」の公的称号が付与される。

「高等課程(高等専修学校)」は、中学校卒業程度の学生が入学できる課程のことをいう。そのうち、3年以上の高等課程で、授業時間数、履修科目などの要件を満たした課程を修了した場合は、高等学校の卒業者と同様に大学入学の資格が与えられる。

「一般課程」は、入学の資格を特に限定しない課程のことをいう。

一方、各種学校は、学校教育法や各種学校規定を満たした上で県知事の認可を受けた学校のことであるが、設置基準は専修学校と比較すると緩やかになっている。各種学校は専門的な技術を学ぶ教育機関だけでなく、生涯学習機関として社会人、学生、主婦など幅広い年齢層が学ぶカルチャースクール的な学校も含まれることがある。

(図表1) 専修学校制度の概要



(出所) 沖縄県専修学校各種学校協会

(2) 設置基準

専修学校の設置は、学校教育法や専修学校設置基準に基づき、県知事の認可事項となる。専修学校の設置については、修業年限、年間の授業時間数、生徒数、校舎の所有形態などの基準が設けられている。経営の形態は、個人、学校法人のどちらも認められている。

(図表2) 主な設置基準

	専修学校	各種学校
修業年限	1年以上	1年以上(簡易なものは3カ月以上)
年間授業時間数	800時間以上(夜間の場合は450時間以上)	680時間以上(1年以上の場合)
在校生	常時40人以上	基準なし
校地	原則として自己所有(ただし、長期の賃貸借や地上権設定がある場合も認められる)	原則として自己所有(長期の賃貸借も可能)
校舎	自己所有	賃貸でも可能

(出所) 沖縄県専修学校各種学校協会及び沖縄県の資料をもとに作成

2. 市場の動向

(1) 県内高等学校卒業生の進路

ここ数年、県内の高等学校卒業生は1万7,000人台とほぼ一定で推移している。2005年3月の卒業生は1万7,364人となっており、そのうち大学・短期大学への進学者は5,396人(構成比31.1%)、専修学校(専門課程)進学者4,145人(同24.2%)、就職者2,488人(同14.9%)の順となっており、専修学校(専門課程)への進学率はここ数年は約24%で推移している。

一方、全国は、2005年3月の卒業生が約122万2,000人に対して、大学・短期大学等への進学者は56万8,000人(構成比47.3%)、専修学校(専門課程)進学者22万

8,000人(同19.1%)、就職者20万6,000人(同17.2%)の順となっている。全国と比較して、沖縄県は大学への進学率が低く、専修学校(専門課程)への進学率が高いのが特徴である。

(図表3) 県内高等学校卒業生の進路 [単位:人]

年	大学・短期大学	専修学校	(うち専門課程)	(うち一般課程等)	就職者	その他	合計
2000	5,004	4,644	3,554	1,090	2,230	4,881	16,759
2001	5,330	4,616	3,822	794	2,283	4,905	17,134
2002	5,317	4,623	3,811	812	1,983	5,131	17,054
2003	5,272	5,023	4,251	772	2,274	4,916	17,485
2004	5,311	4,671	4,145	526	2,440	4,709	17,131
2005	5,395	4,880	4,294	586	2,488	4,601	17,364

(出所) 学校基本調査報告書(沖縄県統計課)

(2) 専修学校の在校生の推移

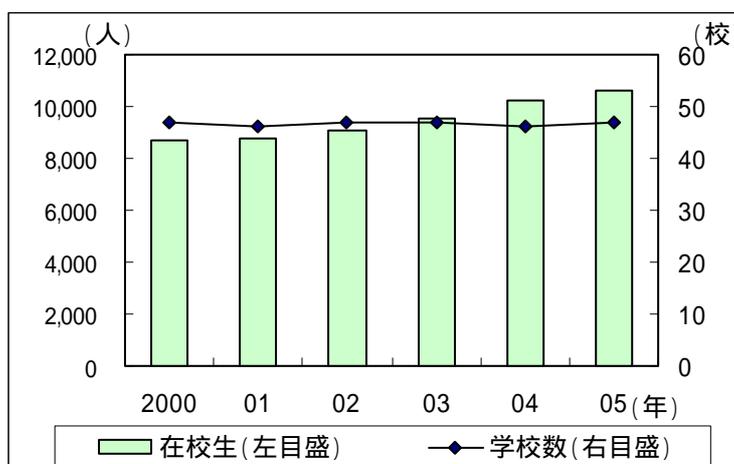
県内の専修学校の学校数は、2005年5月現在47校となっており、5年前の2000年の47校と同じ学校数となっている。毎年ほぼ同程度で推移しているものの、5年間で新設校が10校(10校とも私立)に対し、廃校も10校(国立1校、県立1校、私立8校)となるなど入替わりが多い(県への認可申請ベース)。

高等学校の新規卒業生の専修学校への進学者数は、ここ数年は4,600人~5,000人で推移しているものの、在校生の人数は、2000年の8,658人から2005年は1万608人と、過去5年間で約2,000人増加している。

在校生が増加している要因として、これまで1年制だった学科の2年制への移行がみられたこと、4年制の医療系学校の開校、公務員養成学科の開設や医療などの専門分野へ過年度高等学校卒業生や社会人の入学が増加したことが挙げられる。

全国の動向は、専修学校の在校生が、2005年には78万3,000人で5年前の2000年(75万3,000人)と比較すると増加しているものの、前年と比較すると9,000人の減少となった。

(図表4) 県内専修学校の在校生と学校数の推移



(出所) 学校基本報告書(沖縄県統計課)

(3) 分野別の生徒数の推移

専修学校の分野は、工業、農業、医療、衛生、教育・社会福祉、商業実務、服飾・家政、文化・教養の8つに分けられる。

近年、特に学生数が増加している分野として医療分野が挙げられる。4年制の医療専門学校の新規開設や高齢者向けのリハビリテーション学科の新設、歯科衛生士学科の新設などが主な増加要因となっている。

文化・教養分野も増加している分野であり、県内学生の根強い公務員志向のニーズを掴んだ公務員養成学科の新設が相次いでいることが主な増加要因として挙げられる。また、近年のペットブームによるペット関連の学校やダイビングなどを含めたスポーツ関連の学校・学科の新設もみられる。

教育・社会福祉分野は、保育士の養成や教員養成の課程で安定した学生数を確保しているほか、近年は介護福祉関連学科の開設に伴い増加傾向がみられる。

衛生分野は、2002年、2003年には在校生の落ち込みがみられたものの、美容系で根強い人気を保っていることやエステなどの学科の新設もあり再び増加傾向がみられる。また、調理は学科の新設やパティシエブームなどもあり、今後の需要が見込まれる学科である。

商業実務や工業系は概ね安定して推移している。また、学校教育法の一部改正により1999年6月から一定の要件を満たした者は大学への編入学が認められるようになり、毎年10人以上の編入学生を送り出している学校もある。

全国の分野別の動向をみると、医療系や衛生、文化・教養が増加しており、県内と同じような傾向がみられる。

(図表5) 県内専修学校の分野別の在校生の推移(毎年5月1日現在) [単位:人]

年	合計	工業	医療	衛生	教育・社会福祉	商業実務	服飾・家政	文化教養
2000	8,658	1,228	1,932	1,030	1,679	2,193	76	520
2001	8,796	1,292	1,733	1,023	1,680	2,487	61	520
2002	9,053	1,376	1,836	952	1,578	2,122	77	1,112
2003	9,506	1,444	1,952	867	1,685	2,226	69	1,263
2004	10,250	1,558	2,529	1,055	1,655	2,022	65	1,366
2005	10,608	1,439	2,918	1,085	1,737	2,073	58	1,298

(出所) 学校基本報告書(沖縄県統計課)

分野ごとの主な設置学科等

- ・ 工業分野 …… 測量、土木・建築、自動車整備、コンピュータなど
- ・ 農業分野 …… 農業、園芸、畜産、造園、バイオテクノロジーなど
- ・ 医療分野 …… 看護、歯科衛生、リハビリテーション、マッサージなど
- ・ 衛生分野 …… 調理、理容、美容、栄養など
- ・ 教育・社会福祉分野 …… 保育、幼児教育、医療福祉、介護福祉など
- ・ 商業実務分野 …… ビジネス、簿記・会計、旅行・観光・ホテルなど
- ・ 服飾・家政分野 …… 和洋裁、ファッションデザイン、アパレルなど
- ・ 文化・教養分野 …… 外国人学校、予備校、公務員養成、デザイン、スポーツなど

3. 課題

近年、在校生は増加傾向にあるものの、少子化の進展による学生数の減少や大学全入時代の到来など、今後の課題もある。

(1) 少子化の進展による学生数の減少

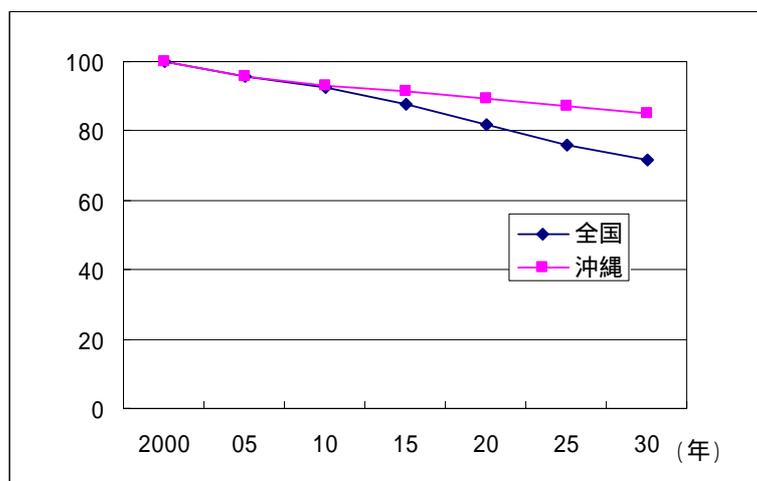
全国的に少子化が進み、厚生労働省が発表した2004年の合計特殊出生率は1.29となり、過去最低を記録した。一方、県内も低下傾向がみられるものの2004年の合計特殊出生率は1.72と全国の中では最も高く、国立社会保障・人口問題研究所によると2025年頃までは人口が増加する見通しとなっている。ただ、県内の15歳未満の推計人口は、2000年には26万6,000人であったのが、2010年には24万8,000人、2020年には23万8,000人と減少する見通しであり、専修学校の市場である若年層は今後、減少していくことになる。

(2) 大学全入時代の到来

近年、生徒数の減少により競争率が1倍台の大学や定員割れの大学、学科もみられ、2007年からは、大学の総定員数が受験者数を上回る状況、いわゆる大学全入時代になると見込まれている。大学側も学生の確保が難しくなっていくことから、いろいろな特待制度を設けるなどの差別化により、生徒を確保していく動きがみられる。大学が以前よりも入学しやすくなると、今後はこうした大学との学生の獲得競争が予想される。

一方、県内においては、受験者数は県内大学の定員数を上回る状況がしばらく続くと見込まれること、また、県民一人当りの所得が、全国平均の約7割にとどまっており、子弟を本土の大学へ出すための経済的負担が大きいことなどを勘案すると、全国ほどの影響は受けないものとみられる。

(図表6) 2000年 = 100とした場合の15歳未満人口の推移



(出所) 都道府県別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)

4. おわりに

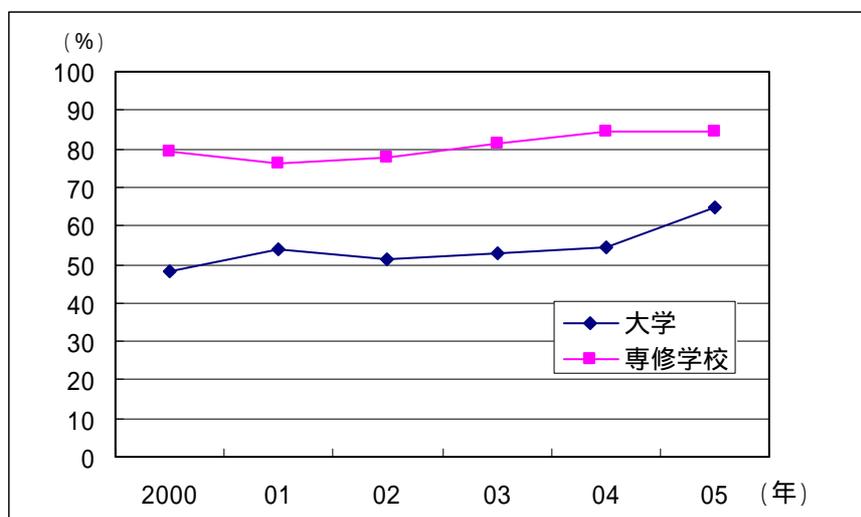
専修学校は、社会で即戦力として活躍できる人材育成を行っていることもあり、就職率は高い。沖縄労働局発表によると、専修学校等の2005年3月卒業者の就職内定率は84.5%（2005年3月末現在）となっており、県内大学卒業者の就職内定率64.9%を大きく上回っている（図表7）。また、時代のニーズに対応できる学科の新設・廃止により生徒の確保を図るなど柔軟な対応ができることが強みである。

一方、前述のように、近年、学校数はほぼ一定で推移しているものの、この間、10校が新設され、10校（うち2校は公立）が廃校となるなど入替わりが多い。また、在校生は増加傾向にあるものの、休校中の学校もみられるなど、学生を集めることのできる学校、集めることのできない学校の差も出てきている。

今後は、高度化・多様化する時代のニーズに対応できる実践的・専門的な学科を新設したり、新たなカリキュラムにより独自性を出すなど、他の専修学校との差別化を図っていくことがより必要となってくる。

専修学校は、教育機関としての社会的な評価も高まってきていることから、社会の即戦力となる人材の育成だけでなく、人間性をより向上させていくような人材の育成も求められてこよう。

（図表7）県内の新規専修学校卒及び大学卒の就職内定率



（出所）沖縄労働局

（以上）

(参考資料)

県内の専修学校(2005年5月1日現在)

	学校名	所在地	課程	主な分野	総定員
1	専門学校ITカレッジ沖縄	那覇市樋川1-1-77	専門	工業外	242
2	育英義塾教員養成学院	那覇市上之屋403-5	専門	教育・社会福祉	190
3	専修学校育成保育カレッジ学院	宜野湾市宇地泊548	専門	教育・社会福祉	225
4	専修学校インターナショナルデザインアカデミー	浦添市牧港1-60-14	専門	文化教養外	480
5	専修学校インターナショナルリゾートカレッジ	那覇市金城町5-8-6	専門	商業実務外	470
6	沖縄アカデミー専門学校	豊見城市字真玉橋387-1	専門	社会福祉	160
7	沖縄ウエルネススポーツ専門学校	那覇市泊1-7-2	専門	文化教養	160
8	沖縄大原簿記専門学校	那覇市東町23-1	専門	商業実務外	350
9	財団法人おもと会沖縄看護専門学校	与那原町字板良敷1380-1	専門	医療	300
10	沖縄歯科衛生士学校	浦添市港川1-36-3	専門	医療	80
11	沖縄情報経理専門学校	沖縄市仲宗根8-11	専門	商業実務外	440
12	沖縄情報経理専門学校名護校	名護市字宇茂佐915-11	専門	商業実務外	120
13	沖縄情報経理専門学校那覇校	那覇市泊2-1-8	専門	商業実務外	240
14	専門学校沖縄中央学園	沖縄市胡屋5-13-2	専門	教育・社会福祉外	300
15	沖縄調理師専門学校	那覇市久米1-18-7	高等、専門	衛生	150
16	沖縄ビジネス外語学院	那覇市久茂地1-2-20	専門	文化教養	360
17	沖縄福祉保育専門学校	那覇市久米1-5-17	専門	教育・社会福祉	600
18	沖縄ペットワールド専門学校	那覇市泉崎1-23-3	専門	文化教養	180
19	医療法人おもと会沖縄リハビリテーション福祉学院	与那原町字板良敷1380-1	専門	医療外	620
20	沖縄YMCA国際ホテル専門学校(休校中)	那覇市壺屋2-17-3	専門	商業実務	160
21	沖縄和裁専門学校	那覇市泊3-1-23	専門、一般	服飾・家政	110
22	海邦電子ビジネス専門学校	うるま市字赤道360-2	専門	商業実務外	300
23	国際コミュニティーカレッジ	那覇市寄宮1-8-50	専門	商業実務	290
24	国際電子ビジネス専門学校	那覇市旭町114-5	専門	工業外	660
25	サイ・テク・カレッジ	北谷町美浜1-5-16	専門	工業	216
26	サイ・テク・カレッジ那覇	那覇市天久2-1-13	専門	工業	208
27	CSCコンピューター学院(休校中)	那覇市山下町103-1	専門	工業	160
28	CSCコンピューター学院中部校(休校中)	沖縄市室川1-1-10	専門	工業	40
29	専修学校尚学院国際ビジネスアカデミー	那覇市泊2-17-4	専門	文化教養外	510
30	ソーシャルワーク専門学校	北中城村字屋宜原212-1	専門	教育・社会福祉	240
31	専門学校大育	那覇市大道88-5	専門	衛生、医療外	780
32	大育高等専修学校	那覇市大道5-1	高等	商業実務	240
33	大育情報ビジネス専門学校	那覇市大道77	専門	商業実務外	760
34	中部美容専門学校	沖縄市字比屋根1-10-2	高等、専門	衛生	440
35	那覇市医師会那覇看護専門学校	豊見城市字渡橋名289-23	専門、高等	医療	450
36	那覇情報システム専門学校	那覇市安里2-6-51	専門	商業実務外	600
37	那覇日経ビジネス工学院	那覇市安里1-1-53	専門	文化教養外	510
38	専門学校日経ビジネス工学院	沖縄市室川1-2-20	専門	文化教養外	330
39	ハイカロジ-学園SOLA沖縄専門学校	宜野湾市大山7-9-8	専門	文化教養外	640
40	専修学校ハイテクカレッジ学院	宜野湾市真志喜3-29-1	専門	工業	530
41	ビューティーモードカレッジ	那覇市東町23-5	専門	衛生外	340
42	財団法人北部地区医師会北部看護学校	名護市字為又1219-91	専門	医療	240
43	安木屋ビジネス専門学校	那覇市牧志1-1-14	専門	商業実務	60
44	琉球調理師専修学校	浦添市宮城5-2-3	高等	衛生	100
45	琉球美容専修学校	那覇市久米1-20-21	一般	衛生	440
46	専門学校琉球リハビリテーション学院	金武町字金武4348-2	専門	医療	980
47	県立浦添看護学校	浦添市当山422	専門	医療	320

(出所) 沖縄県私学総務課